作業工程	作業の順序	危険・有害要因 （予想される災害）	重大性	頻度	評価点	評価	危険・有害要因の防止対策	（注） 誰が
木工事 先行工事 （額縁取付 各下地補強材取付）	額縁材・各下地補強材の 搬入荷卸	建設用ﾘﾌﾄの運転は特別教育修了者 しか出来ない	5	2	10	●	指名有資格者による運転	職長
		玉掛けは技能講習修了者（1t以上） 特別教育終了者（1t未満）の資格必要	5	1	5	●	指名有資格者による玉掛け	職長
		搬入時取り外した手すり等をそのままにしておくと、他業者が、ｹｶﾞをする。	5	2	10	●	搬入完了後、速やかに復旧する。又職長は、 必ず復旧を確認するよう指導周知する。	職長
		運搬中、通路の凹凸でつまづく	5	5	25	●●●	安全通路の不要材を片付け通路確保 して、足元を確認しながら、運搬する。	作業員
		ﾘﾌﾄの荷台部分や、 出入口の頭上より物が落ちてくる。	5	2	10	●●	防護のある運転席に作業員は乗る 出入り口部の落下防止養生設備のある 所を使用する	作業員
		運搬時近道しようとして通行禁止区域や、 立ち入り禁止場所への立ち入りは危ない	5	3	15	●●	通行・立ち入り禁止場所へは立ち入ら ない様に指導周知を徹底する。	作業員
		自分の力量に応じて物を運搬しないと 腰を痛めたりふらつく。	5	2	10	●	自分の力量以上の物の運搬をしないよう に指導周知を徹底する	作業員
		運搬時現場内で小走りに走ると転倒の 恐れがある。	3	2	6	●	運搬時現場内で小走りに走るらない様 に指導周知を徹底する	作業員
		ﾄﾗｯｸとﾘﾌﾄの渡り通路は十分な広さが ないと転落の恐れがある	5	2	10	●	ﾄﾗｯｸとﾘﾌﾄの渡り通路は鋼製布板・杉製 足場板でW=400以上にて使用する	作業員
		ﾄﾗｯｸとﾘﾌﾄの渡り通路はしっかり固定 しないと転落の恐れがある	5	2	10	●	ﾄﾗｯｸとﾘﾌﾄの渡り通路は鋼製布板・杉製 足場板で端部をしっかり固定して づれない様にして使用する	職長
		額縁材は番木の上に水平・平行に 置かないと指をつめる。	5	1	5	●	額縁材は番木の上に水平・平行に 置き、取り出し時指詰しない様に十分な 隙間を確保する。	作業員
	搬入材の数量・形状・傷等の確認							
	電動工具（丸ﾉｺ） ｴｱｰ工具（釘打機他）の点検	安全装置の不具合及び工具の不具合があると 思わぬｹｶﾞをする。	5	5	25	●●●	電動工具・ｴｱｰ工具の始業前点検を 実施して使用する。不具合があれば、 修理完了するまで使用しない。	作業員
	脚立の点検	開き止めや脚立に不具合があると 転落やｹｶﾞをする	5	5	25	●●●	脚立の始業前点検を実施して使用する 不具合あれば使用せず廃棄する	作業員
	施工図により組立寸法・取付位置確認							
	額縁材小運搬	運搬中、通路の凹凸でつまづく	5	2	10	●	安全通路の不要材を片付け通路確保 して、足元を確認しながら、運搬する。	作業員
	額縁材切断・加工・組立	切断・加工時電動工具（丸鋸・卓上型丸鋸 他）により、ｹｶﾞをする	5	5	25	●●●	切断時は、材料をしっかり固定し安定した 場所で切断する。	作業員
			4	5	20	●●●	切断場所は、常に材料及び切断片等を 片付けて足元手元が綺麗な状況で作業 出来るように心掛ける	作業員
		卓上型丸ﾉｺ使用して切断時、ﾉｺｸｽﾞが、 目に入り、目を痛める。	4	5	20	●●●	保護ﾒｶﾞﾈ、ﾏｽｸを着用する洋に周知徹底する。	作業員
		組立時締め付け用ﾋﾞｽで指を突き ｹｶﾞをする	3	5	15	●●	締め付け用電動ﾄﾞﾘﾙ使用時は手元に 注意して使用する	作業員
		組立仮置き時倒れてきて、体に当たる	2	5	10	●	倒れて来ない様に、きちんと 整理整頓して仮置きする。	作業員
	額縁取付	ﾊﾟｯｷﾝ取り付け時、釘で指を突き ｹｶﾞをする	1	5	5	●	ﾊﾟｯｷﾝ取り付け用釘打機使用時は手元に注意し無 理な姿勢で、使用しない。	作業員
	額縁養生	養生材は、しっかり固定していないと つまづいたり、体に当たり、危ない。	1	4	4	●	養生材は、養生ﾃｰﾌﾟ等で、しっかり止める 又外れた箇所は、気づいた人が、 復旧する。	作業員
	施工図により取付位置・数量を確認							
	片付け	不要材・残材を散らかしておくと、つまづいて ｹｶﾞをする。 又後工事業者の邪魔になる。	2	5	10	●	作業終了後の不要材の整理整頓を徹底する。 作業終了後の残材片付け及び清掃を徹底する。	作業員
	自主検査							